

授業科目 装具実習 III(下肢装具実習)

【担当教員名】 阿部 薫、笹本 嘉朝、須田 裕紀、 高橋 素彦		対象学年 3	対象学科 義肢
		開講時期 前期	必修選択 必修
		単位数 4	時間数 120
【ディプロマポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
			◎
【概要・一般目標：GIO】 下肢の疾患・障害に対応した下肢装具を製作・適合できるようになるために、採型・採寸、モデル修正、製作と組立て、および適合と問題解決等の基本技術を習得する。			
【学習目標・行動目標：SBO】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者への適切な対応と評価ができる。 2. 採寸・採型作業を確実にこなせる。 3. 陽性モデル修正作業を正確に行える。 4. 材料の加工や組立てなど、製作工程において安全かつ効率的に作業できる。 5. チェックアウト・プロトコルに則り、装具の適合状態を確実に判断できる。 6. 適合不良に対し適切に対処できる。 			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳血管障害のAFOの採寸・採型	1, 2	
2	脳血管障害のAFOの陽性モデル修正	3	
3	脳血管障害のAFOの製作	4	
4	脳血管障害のAFOの適合チェックアウト	1, 5	
5	PTB 免荷装具の採寸・採型	1, 2	
6	PTB 免荷装具の陽性モデル修正	3	
7	PTB 免荷装具の製作	4	
8	PTB 免荷装具の適合チェックアウト	1, 5	
9		1, 2	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	装具学 第4版	日本義肢装具学会 監修	医歯薬出版 2013・6,200円
参考書			
その他の資料			
【評価方法】 実習レポート（カルテ評価）80%、態度 20%。	【履修上の留意点】 原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を、最終評価から減点する。		